

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第2回 トンボと遊ぶ ～向島のトンボと島外のトンボ～

向島では、昔から畑での野菜作りや田んぼでの米作りが盛んで、島中に小川やため池がたくさんありました。

水辺の虫の中でもひととき大きく素早く飛び回る「トンボ」は、よく自立したたくさんすんでいるよ。遠くに行かなくても家の近所に飛んでいるので、簡単に見つける事ができるね。

捕まえやすいトンボもいれば、動きが早くてなかなか網の中に入ってくれないトンボもいるけど…捕まえてみると同じ種類でも『幼いトンボ』と『立派な大人のトンボ』では色合いが違うし、『オス』と『メス』でもずいぶん違う事が分かってくるよ。

まず捕まえてみよう！

種類の違うトンボが、なぜいるのかな？…形が違うのはなぜかな？…と、トンボと遊んでみてはどうかな？(トンボの棲む環境は危ない所も多いので、あうちの人について行ってもらってね)

小さな命 (生へのロマン)

トンボの詩(童謡「赤い鳥」の替え歌)

- 赤いトンボ アカトンボ なぜなぜ赤い 赤い夕日に焼けた
- 白いトンボ シオカラ なぜなぜ白い 塩の浜で育った
- 黒いトンボ 干ヨウトンボ なぜなぜ黒い 蝶の真似してヒラヒラ
- 黄色いトンボ イトンボ なぜなぜ黄色 黄色の稲穂と遊んだ
- 青いヤンマ アオヤンマ なぜなぜ青い 青い水を飲んだ
- ササヤンマ サラサ なぜなぜ七色 虹の橋を渡った
- トン吉さん 赤鼻 なぜなぜ赤い 赤いトンボにかまれた

2009年8月

トン吉ことドクターヤブ

花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ

つるかめクラブ